



お米のひみつの巻

# としま丸しんぶん

編集 さいたま市図書館  
「としま丸しんぶん」編集委員会  
発行 さいたま市立中央図書館  
浦和区東高砂町11-1  
コムナール8階  
電話 048-871-2100  
<http://www.lib.city.saitama.jp/>  
けいたいでんわよう  
<http://www.lib.city.saitama.jp/m/>

江戸時代のさむらいのお給

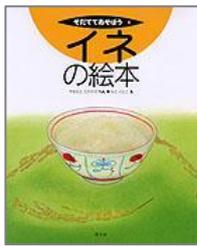
料はなんだったか、しってるかい？  
せいはいは、お米。お米は、  
イネっていう植物からとれる、  
ゆうかくの秋を代表する食べ物  
なんだ。

それじゃあ、秋にしゅうかくし  
たお米を、どうして夏も冬も毎日  
食べられるか、わかるかな？  
実は  
お米は、しゅうかくした後かんそ  
うさせれば、何年間も保存できる、  
すごい食べ物なんだ。だからぼく  
たちは、いつでもおいしいお米が  
食べられるってわけ。

## ～お米のひみつをさぐろう～



『おこめができた！』  
なかがわたくとし かんしゅう  
中川孝俊 監修  
いわま しろう しゃしん  
岩間史朗 写真  
ひさかたチャイルド



『イネの絵本』  
やまもとたかかず 編  
もとくにこ 絵  
のうさんぎょそんぶん か きょうかい  
農山漁村文化協会



おいしいお米をいっぱい食べ  
て、りっぱなこじやになろうぞー！

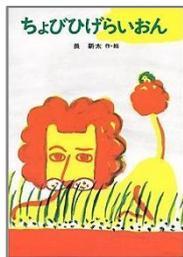
# おてがみひろば

わたしはキャベツくんがす  
きです。おすすめの本はありま  
すか？  
せのゆかさんより

本の人気ランキングをのせ  
たらいいと思います。  
天下統一！  
のぶながさんより



ブキャツ！ 絵本のキャベ  
ツくんがすきなんだね。それ  
じゃあ、キャベツくんの作者、  
長新太さんの本を読んでみ  
よう。ぼくのおすすめは『ち  
よびひげらいおん』という本。  
ライオンのひげがおもしろく  
大好きなんだ！



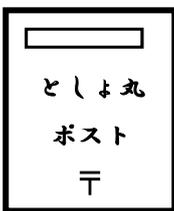
『ちよびひげらいおん』  
ちようしん た さく え  
長新太 作・絵  
あかね書房

## すう かしだし数ベスト3

- 1 『しろくまちゃんのほっとけーき』  
わかやまけん 作 こぐま社
  - 2 『はらぺこあおむし』  
エリック=カール 作・絵  
もりひさし 訳 偕成社
  - 3 『がたんごとんがたんごとん』  
あんざいみずまる さく ぶくいんかんしよてん  
安西水丸 作 福音館書店
- (としまかんホームページ)  
トップページ>貸出/予約ベスト>貸出ベスト 児童書

かしだし数で見ると、絵本が  
多くランキングしているね。こ  
のランキングはとしよかんの  
ホームページで見られるよー！

このコーナーは、としま丸しんぶんをよんでいるきみと、  
としま丸をむすぶコーナーです。てがみは、としま丸ポストへ  
いれてね！ なまえをのせてもいい人は、なまえもかいてね☆

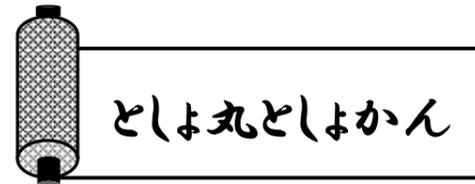


『あくたれラルフ』 ★

ジャック・ガントス 作 ニコール・ルーベル 絵 いいものもこ 訳 童話館出版

セイラのねこのラルフはあくたれでした。セイラのパーティーをめちゃめちゃにしたり、おとうさんのだいじなパイプでシャボンだまをしたりと、いたずらばかりするのです。

あるばん、サーカスにいったラルフはあまりにもひどすぎました。ラルフは、とうとうサーカスにおきざりにされてしまいます。



きらわれもの だいしゅうごう 大集合!

おに 鬼、あくま、カラスにへんなおじさんまで? だい 大きにはなれなくても なんだかにくめない、 そんな主人公たちの かつやくを 楽しもう!

『すみ鬼にげた』 ★★

岩城範枝 作 松村公嗣 絵 福音館書店

三百年あまり前のこと。宮大工の見習いとして、唐招提寺の修理を手伝っていた少年ヤスは、お堂の前で「うおー うおー」という泣き声を聞いた。見ると、ちいさな鬼が、軒下の隅木を肩でささえ、正座したまま泣いている。鬼は九百年ものあいだ、お堂を守る「すみ鬼」として、すえつけられていたという。



『川べのちいさなモグラ紳士』 ★★

フィリパ・ピアス 作 猪熊葉子 訳 岩波書店

幼い少女ベットは、変り者のフランクリンさんにたのまれ、だれもない川べの丸太にすわって、本を読むことになった。ベットが本を読み終えた時、そこにはモグラがいて、人間のことはでべらべらと話しかけてきた。やがて、モグラはベットに心をゆるし、自分の身に起こった恐ろしい出来事を語りはじめた。



★ がぶえると だんだん むずかしくなるけれど チャレンジしてみてね!

『リアニア民話 パンのかけらとちいさなあくま』 ★

内田莉沙子 再話 堀内誠一 絵 福音館書店

ちいさなあくまは、びんぼうなきこりのパンをぬすんだばつとして、きこりのために、あれたぬまをむぎばたけにかえてみせました。ところが、そだったむぎはじぬしにぜんぶとられてしまったのです。ちいさなあくまは、ここでこうさんしてなるものかと、じぬしのもとにむかいます。



『やねの上のカールソン』 ★★

リンドグレーン 作 大塚勇三 訳 岩波書店

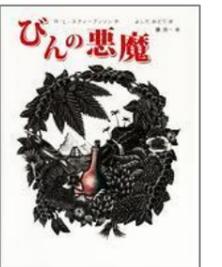
7つの男の子リッレブルールにとって、まったくたのしくないある日。窓からそとをながめていると、小さい、ふとったおじさんが、せなかにモーターをつけて、とんできました。おじさんの名前はカールソン。やねの上ですんでいるというのです。その後、リッレブルールは、つぎつぎとさわぎにまきこまれていきます。



『びんの悪魔』 ★★

R・L・スティーブンソン 作 よしだみどり 訳 磯良一 絵 福音館書店

望めば何でも手に入れることができる不思議なびん。しかし、そのびんを死ぬまで持っている、永遠に地獄の炎で焼かれてしまう。そして、このびんを手放すには、買った値段よりも安い値段で売らなくてはならないという奇妙な決まりがあった。望みをかなえ、一度はびんを手放すことに成功した主人公だったが...

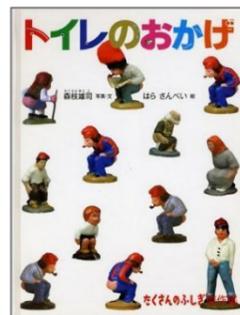


こんな本もどう?

『トイレのおかけ』

森枝雄司 写真・作 はらさんぺい 絵 福音館書店

毎日みんなが何度も行くところで、戦国武将や宇宙飛行士も必ず行くところって何でしょう? それは、「トイレ」。子どものころトイレを嫌な場所だと思っていた作者は、スペインで見つけたウンコをしているかっこうの人形「カガネー」や、ベルギーの小僧小僧に出会って、ほかの国やむかしのトイレのことを調べてみたくなりました。



『わたしのカラス研究』

柴田佳秀 作 さ・え・ら 書房

カラスはなぜ、生ゴミをちらかしたり、人をおそったりするのでしょうか? カラスの研究者がほとんどいないなか、作者はテレビで特集番組を作るために、自分で観察を始めます。すると意外なことがわかったのです。針金ハンガーを使った巣や、かしこい食事方法など、あまり知られていないカラスの暮らしぶりを紹介します。



本をさがして  
プログラムをつくる



季節やその時に集まる子どもの年れいなどを  
考えて、おはなし会にあった本をさがします。  
また、読む本の数や、手あそびを入れるなど  
プログラムを組み立てます。

ジャン！！ 2ねんぶり！！  
「としまかんとらのまき」  
が帰ってきました！

今回は、ほくが大好きな  
おはなし会について、  
どんな準備をして

いるか？ おねえさん  
に聞いてみたよ。

※このコーナーでは、としまかんのひみつや、まめちしき  
などをしょうかいしていくよ！



としまかんとらのまき  
おはなし会ができるまで

家で練習する



家での練習がとても大事です。  
家族や、親せきの子どもに聞いて  
もらうこともあります。

こんにちは！ それでは、  
おはなし会にむけて、わたしたち  
がしていることを、いくつか紹介  
するね。

本ばん直前練習

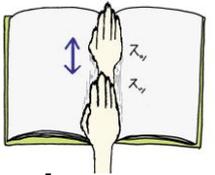
本ばんが始まる前に、おは  
なし会の会場で練習します。

ほかの職員に聞  
いてもらい、  
声の大きさ  
などを確認し  
てもらいます。



本をめくりやすいようにする

本をめくりやす  
く、また見やす  
くするために、すべ  
てのページのまん  
中を、さすってお  
きます。



いろいろな準備をして  
くれているんだね。  
次のおはなし会が  
たのしみっ！

としまかんでクエスチョン

編集  
後記

芸術の秋だね。カキとクリって色や形が芸術  
的だね。では味は？ やっぱり食べなきゃね！  
次のとしま丸しんぶんは1月にでるよ。



としま丸  
おもしろさが伝わらないよね。お兄さんも背中  
より、前から見たほうがカッコいいしね。

としま丸  
たしかに！ 背表紙のタイトルだけじゃ、絵本の  
すくない本を置いたりして工夫しているよ。

おにいさん  
そう言われるとうれしいね。  
本の表紙を表にして展示することを、僕たち  
は、本のお(面)を出すことから、「面出し」と  
よんでいるよ。とくに絵本は、ほとんどの本がう  
すくて、背表紙が見えにくいから、こうして表  
紙を出すことで、みんなが手にとりやすくなる  
んだ。ここには、おすすめの本だけれど、利用が

としま丸  
図書館って、絵本の表紙を表にして並べてくれ  
ている棚があるよね。あそこを見ると、楽しい本  
がいろいろあるのがわかって、ワクワクするよ。